

## 認知神経リハビリテーション・ベーシックコース（静岡）2018プログラム

1日目 2019年2月2日（土）

09:00ー 受付・オリエンテーション

### [リハビリテーション脳科学]

09:20ー 認知の樹（映像）

09:30ー10:30 講義1）行為と認知のニューロサイエンス（原）

1. 脳の知覚運動制御メカニズム
2. 運動意図（予測）と運動イメージ
3. 運動学習モデル（スキーマ理論・比較学習）、身体意識、行為の多感覚統合

10:40ー11:40 講義2）片麻痺の機能回復神経学（内田）

1. 痙性麻痺と錘体路
2. 機能解離と半球間抑制
3. 片麻痺の機能回復とリハビリテーション治療

### [認知神経リハビリテーション入門]

11:50ー12:40 講義3）認知神経理論（三田）

1. 身体と環境の相互作用
2. 認知過程から見た回復と学習の類似性
3. 行為の全体性、複合性、拡張性と行為の創発原理

13:40ー15:10 演習1）病態分析と病態解釈（高橋・全講師）

1. 脳画像検査や手術所見などから得られる情報や検査チャートによる評価
2. 外部観察・・・姿勢と動作の特徴（自発的・規定動作）、神経学的病理、特異的な運動の異常要素、行為システム
3. 内部観察・・・認知過程の変質、意識経験の変質、観察のためのプロフィール、一人称言語記述、意識の志向性

15:30ー16:20 講義4）行為の機能システムと情報メカニズム（首藤）

1. 身体を情報の受容表面と捉える
2. 行為・機能・情報のヒエラルキー
3. 行為の機能システムと回復のための情報の構築

16:30ー17:20 演習2）認知問題と訓練の組織化（原・全講師）

1. 身体部位、訓練段階、感覚モダリティ、認知問題
2. 空間問題と接触問題
3. テーマ（身体部位）、内容・方法・検証

17:30ー18:20 講義5）道具と訓練（首藤）

1. 道具の名称
2. 物理的道具と心理的道具
3. ツールとしての訓練器具・運動イメージ・言語・他者観察

2日目 2019年2月3日(日)

09:10 オリエンテーション

[認知神経リハビリテーションの実際]

09:20-13:00 演習3) 行為の機能システムと認知神経リハビリテーション

1. 行為システムと訓練器具の関係
2. 難易度の調整
3. 基本的手続きと実技
  - ① 上肢の機能システムと訓練の実際 (原・全講師)
  - ② 体幹の機能システムと訓練の実際 (内田・全講師)
  - ③ 下肢の機能システムと訓練の実際 (首藤・全講師)

[脳のなかの訓練室]

13:50-14:30 講義6) 左半球損傷の病態解釈と回復の探求 ~失行症(高橋)

1. 行為のトランスフォーメーション(変換)としてみた左半球障害の特徴
2. 失行症の病態(肢節運動失行・観念運動失行・観念失行)
3. 失行症の治療(動作的・映像的・言語的表象の同種・異種感覚情報変換、道具の使用)

14:40-15:20 講義7) 右半球損傷の病態解釈と回復の探求 ~半側空間無視(内田)

1. 行為のスペース・インテグレーション(空間統合)としてみた右半球障害の特徴
2. 半側空間無視の病態(注意障害・身体空間・身体周辺空間・身体外空間)
3. 半側空間無視の治療(身体の正中線、体性感覚空間への注意、行為の多感覚統合)

[身体化された認知]

15:30-16:10 講義8) 身体化された認知の回復を目指して(高橋)

1. リハビリテーション身体論 ~フッサー、メルロ・ポンティ、ギブソン、ギャラガー、エーデルマン、バレラ・・・・
2. 身体・物語・人生とロマンティックサイエンス ~ルリア、サックス、ペルフェッティ・・・・
3. 行為の記憶と想起された現在 ~認知運動療法から行為間比較への旅・・・・

16:10-16:20 まとめ